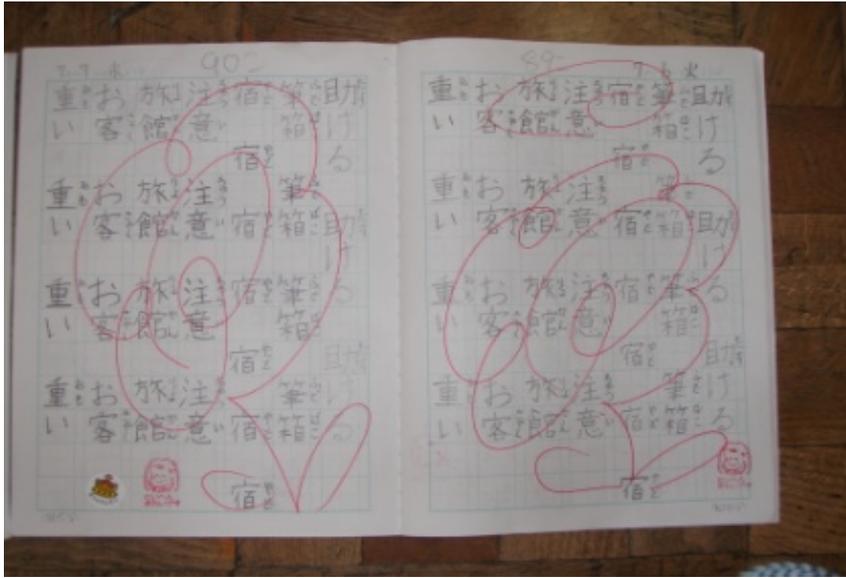


#### 4 少しずつ確実に漢字の練習を継続させる指導について (1年)



##### 【実践例】

- 1 一日一ページの漢字練習を家庭学習とし、一年間継続する。
- 2 ノートにすき間なくびっしりと書くのではなく、  
『森 森 森 森』  
『大きい 大きい』  
というように、一まずずつ空けて書くことを約束する。(例)

##### 【留意点】

- 1 (例) 文字を丁寧に書かせるため、一まずずつ空けて書くようにする。  
新出漢字を学習する曜日を決めておくと、漢字練習のパターンができ、取り組みやすくなる。  
例：火曜日：新出漢字を五個覚える。  
火・水・木曜日：その五個を一行ずつ練習してくる。(家庭学習)  
金曜日：練習してきた五個を小テストで確認し、新しい五個を覚える。  
金・土・日・月曜日：その五個を一行ずつ練習してくる。(家庭学習)  
火曜日：練習してきた五個を小テストで確認し、新しい五個を覚える。  
以上を繰り返していく。  
毎回、しっかり評価をしてあげることが大切である。  
文字を正しく、とてもきれいに書いている場合には、特別に『葉っぱ付きの花丸』などを付け、きれいに文字を書こうとする児童を育てていく。『葉っぱ付きの花丸』が十個になったらシールを与える。更に、シールが十個になったらキラキラシールをはるなど、ごほうびシールを与えながら児童の意欲を高める。